

## 町田市地域防災計画修正の概要及び意見募集の実施について

町田市では、「町田市地域防災計画」と「町田市事業継続計画」の修正を、相互に循環させ災害対策のさらなる向上を図る「町田市版BCM」に取り組んでおります。2023年度は、町田市版BCMに基づき、町田市地域防災計画の修正を進めております。1月のパブリックコメントを経て、2月の防災会議で審議いただき、承認を受け、4月に公表する予定です。

### 1 修正のポイント

#### (1) 各種計画修正への対応

##### ◆東京都地域防災計画（震災編）の反映【全編】

2023年5月に公表された東京都地域防災計画（震災編）の修正内容と整合性を合わせるため、全編において、多様性の尊重について記載する等の関連する文言修正をしました。また、都計画と整合させた減災目標を設定するとともに、第2章 災害予防計画において、「マンション防災における自助・共助の推進」や、「個別避難計画の作成」について記載しました。

##### ◆町田市事業継続計画（地震編）（2021年度修正）の反映

##### 【第1章 第1節 計画の策定方針、第3章 第1節 応急活動体制の確立】

2021年度に修正した町田市事業継続計画において明確化した非常時優先業務の実施に係る人員の配分調整手順との整合を図りました。また、町田市災害時受援応援計画等の関連計画と併せて計画体系図として地域防災計画との関係を明らかにしました。

#### (2) 新しい被害想定に基づく避難施設別避難者推計の実施

##### 【第1章 第4節 被害想定、第2章 第9節 生活救援体制の整備】

地域防災計画の修正と並行して、地域特性を反映した避難施設別の避難者数の推計を実施しております。新しい被害想定を反映するとともに、「物資調達体制の整備」において、必要備蓄量の基準を明確化し、各地域の推計避難者数に応じた備蓄の整備を推進する旨を記載しました。

#### (3) 法改正等への対応

##### ◆災害対策基本法の一部改正（2021年5月）の反映

##### 【第2章 第11節 要配慮者等支援体制の整備、第4章 第12節 避難対策】

避難情報の発令についての見直しが行われ、町田市においても、既に運用にて変更内容を踏まえた避難情報を発令しているところですが、市民等の避難行動の支援へとつなげることができるよう計画に記載しました。また、個別避難計画の作成が市町村の努力義務とするよう改正されたため、個別避難計画の作成について記載しました。

#### ◆地震に関する地域危険度測定調査（第9回）の結果への対応

##### 【第1章 第4節 被害想定】

2022年9月に東京都が東京都震災対策条例に基づき、地震に関する地域危険度測定調査（第9回）を実施したことに伴い、調査結果について記載しました。

町田市の危険度ランクは、総合危険度では、大部分の町丁目において、相対的に危険度が低いランク1ないし2の評価を得ており、森野3丁目がランク3の評価となっています。

（前回調査（2018年）では、森野3丁目、金森1丁目、高ヶ坂1丁目がランク3となっていました。なお、危険度のランクは相対評価のため、安全性が向上していても他の町丁目の安全性がより一層向上している場合には、危険な方向にランクが変化している場合があります）

#### （4）震災対応図上訓練から得た課題への対応に伴う修正【全編】

震災対応図上訓練から得た課題としては、災害時の情報について適切な情報共有がなされていない、関係部署とのオペレーションについての懸念等の課題が抽出されました。今年度、町田市防災システムを更改し、市民向け防災ポータルサイト（町田市防災WEBポータル）を導入しましたので、これらを活用した迅速な情報把握や分かりやすい情報発信を行うよう記載しました。

#### （5）その他の修正

##### ◆地区防災計画の策定

##### 【第2章 第1節 災害に強い人と組織づくり】

災害対策基本法に、地区単位の居住者等が行う自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が定められています。玉川学園第三地区自主防災隊から提案がありましたので、地域防災計画に記載します。

## 2 意見募集（パブリックコメント）の実施及びその後の予定

この度の修正案については、来年1月初旬からのパブリックコメントの実施を予定しております。修正原案は、各市民センターや各駅前連絡所、図書館等に配置するほか、町田市ホームページに掲載いたします。

パブリックコメントの実施結果については、令和6年（2024年）第1回定例会にて行政報告いたします。今回の修正案については、市民意見の取りまとめを経て、2月の防災会議にて審議、承認を頂き、内容を確定する予定です。